

2024年5月13日
昭和産業株式会社

2024年3月期 決算の発表について

昭和産業株式会社（代表取締役社長執行役員：塚越英行）の2024年3月期連結決算は、売上高 346,358 百万円、営業利益 13,146 百万円、経常利益 16,558 百万円となりました。2025年3月期連結業績予想については、売上高 346,000 百万円、営業利益 12,000 百万円、経常利益 13,000 百万円を見込んでおります。

【2024年3月期連結決算】

当連結会計年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、インバウンド需要も回復基調となり、経済活動および社会活動の正常化が進みました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、為替相場の円安基調等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立 90 周年を迎える 2025 年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、3rd Stage「中期経営計画 23-25」を2023年4月にスタートし、基本コンセプト『SHOWAの“SHIN-KA”宣言～90年、そしてその先へ～』を掲げ、新たな財務指標とともに5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各施策を推進しております。

当連結会計年度では、「①基盤事業の強化」において、食品事業における製油・糖質カテゴリのより一層の製品供給の安定化、コスト低減、付加価値向上に向けて国内での事業の展開を加速させるため、辻製油株式会社と2023年5月に資本業務提携を行い、サプライチェーンをより強固なものへと発展させました。

また、創業以来初となる抜本的な営業組織改編を実施し、これまで「プロダクトアウト型」であった当社の組織を2023年4月よりマーケットイン志向の業態別・顧客別の「ワンストップ型」組織に変革し、お客様のニーズに合致する最適なソリューションを迅速に提供する販売機能に特化した組織体制に改編しております。初年度となる当連結会計年度では、業態別・顧客別営業体制を生かした販路の拡大や、すべてのカテゴリの販売チャンネルに対する課題解決型営業に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の経営成績は、連結売上高が 346,358 百万円と前年同期に比べ 11,304 百万円（3.4%）の増収となりました。営業利益は 13,146 百万円と前年同期に比べ 8,962 百万円（214.2%）の増益、経常利益は 16,558 百万円と前年同期に比べ 10,033 百万円（153.8%）の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は 12,358 百万円と前年同期に比べ 4,581 百万円（58.9%）の増益となりました。

【2025年3月期連結業績予想】

2025年3月期の業績は、連結売上高 346,000 百万円、連結営業利益 12,000 百万円、連結経常利益 13,000 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 11,000 百万円を見込んでおります。

以上